

第69回

東北社会学会大会 プログラム

第一日目： 2023年 7月15日（土）

第二日目： " 7月16日（日）

15日 （土）	12:30 -	受付	文学部棟 1階
	12:30 - 13:30	理事会	文学部棟 5階 510教室
	13:30 - 13:40	開会の辞	文学部第1講義室
	13:40 - 17:00	課題報告部会	文学部第1講義室
	17:15 - 18:00	役員選挙・学 会総会 I	文学部第1講義室
16日 （日）	9:00 -	受付	文学部棟 1階
	9:30 - 12:00	自由報告 I	文学部棟 3階 311, 315, 337教室
	12:00 - 12:50	理事会 II	文学部棟 5階 510教室
	13:00 - 15:00	自由報告 II	文学部棟 3階 311, 315, 337教室
	15:00 - 15:10	学会総会 II	文学部棟 3階 311教室
	15:10 -	閉会の辞	文学部棟 3階 311教室

会員控え室：文学部棟 1階 135教室

大会事務局：ミーティングルーム

大会参加費 一般・院生：1,000円

* 第二日昼食お弁当：1,000円（事前予約）

* 託児：無料（小学6年生まで、事前予約）

15日(土)：12:30 - 18:00

16日(日)：10:00 - 15:30

主催 東北社会学会

共催・東北大学文学研究科

担当校・会場 東北大学・川内南キャンパス

第一日目

開会の辞 13:30-13:40 会長 永井彰・・・・・・・・・・文学部第一講義室

課題報告 13:40-17:00

「地域での支援」を考える（司会 福島大学 板倉有紀）・・・・・・・・・・文学部第一講義室

- | |
|--|
| 1. 医療化された社会における支援の可能性
——在宅療養支援診療所による支援の事例から——
<p style="text-align: right;">東北医科薬科大学 相澤 出</p> |
| 2. 刑事政策とケア的な地域社会
<p style="text-align: right;">福島大学 高橋有紀</p> |
| 3. 地域社会における性的マイノリティへの「支援」を問う
——東北の団体の視点から——
<p style="text-align: right;">福島大学 前川直哉
東北大学 大森駿之介</p> |
| <p>コメンテーター：岩手県立大学 庄司知恵子
岩手県立大学 泉 啓</p> |

役員選挙・学会総会 I 17:15-18:00・・・・・・・・・・文学部第一講義室

第二日目

自由報告 I 9:30-12:00

A 部会 理論・学説 (司会 東北文化学園大学 山尾貴則)・・・311 教室

- | | |
|---|---------------|
| 1. マイケル・マンの「帝国主義」論 | 岩手保健医療大学 上田耕介 |
| 2. 中国で西洋マルクス主義の代表として紹介されたハーバーマス | 東北大学 洪逸飛 |
| 3. ノーマン・K・デンジンの解釈的相互行為論における感情の理解 | 東北大学 原田 壮 |
| 4. ゴフマンの自己論——役割と役割の区別に着目して—— | 作新学院大学 木村雅史 |
| 5. 自省的専門職論への予備的考察
——エヴァレット・C・ヒューズの基礎視角—— | 東北大学 横山 昇 |

B 部会 若年層のライフコースと地位達成 (司会 武蔵大学 林雄亮)・・・315 教室

- | | |
|---|---------------------------|
| 1. 誰がどれくらいの期間テレワーク (在宅勤務) を利用しているのか
——新型コロナウイルス感染症流行初期における分析—— | 同志社大学 眞田英毅 |
| 2. 若年者のライフスタイルと結婚にかんする意識の関連
——COVID-19 の影響に着目して—— | 大阪経済大学 苫米地なつ帆 |
| 3. 未婚者のライフイベント希望のコーホート比較 | 東北文化学園大学 田中 茜 |
| 4. 家族形成期における女性のライフコース展望の経時的変化
——パネルデータによる検討—— | 国立社会保障・人口問題研究所 齊藤知洋 |
| 5. 青年前期の文化資本が初職達成に与える影響 | ○ 東京大学 二島勢津子
東京大学 三輪 哲 |

○印は連名の場合の報告者
以下同様

1. 東北地方の自治体における東日本大震災関連社会調査資料の保有状況
 - 東北学院大学 神林博史
 - 東京大学 三輪 哲
 - 山形大学 阿部晃士
 - 東北大学 小川和孝
 - 東北学院大学 鈴木 努
 - 岩手県立大学 鈴木伸生

2. 東日本大震災が被災女性のライフコースに与える影響
——せんだい男女共同参画財団のパネル調査報告——
 - 公益財団法人せんだい男女共同参画財団 阿部若奈
 - 公益財団法人せんだい男女共同参画財団 大羽沢悦子
 - 公益財団法人せんだい男女共同参画財団 遠藤恵子
 - 東北学院大学 佐久間政広

3. 東日本大震災とインターセクショナルな女性支援
——宮城県仙台市の女性団体による実践から——
 - 一橋大学 内田 賢

4. ふるさどになぜ神社を再建するのか
——福島県双葉町中野八幡神社を中心に——
 - 東北文化学園大学 齊藤綾美

5. 地域の産業と共有地の意義の変遷
——和歌山県田辺市新庄地区愛郷会の事例——
 - 東北大学 雁部那由多

自由報告Ⅱ 13:00-15:00

D 部会 教育 (司会 同志社大学 眞田英毅) 311 教室

1. 教育政策への意見の実証研究 ——教育の公的支出に関する意見の時点間・国家間比較——	東北大学 森坂太一
2. 空間的相互作用を考慮した大学進学地域差の再検討	日本大学 濱本真一
3. 社会学教育の在り方に関する論点 ——ブラウォイの大学教育論からの示唆——	岩手大学 横井修一
4. 再文脈化された神々：キリスト教主義学校の「校歌」に関する序説	東北学院大学 片瀬一男

E 部会 医療と福祉 (司会 岩手保健医療大学 上田耕介) 315 教室

1. 医療分野における「スタンダードの社会学」の展開可能性 ——看取りのパスの事例から——	東北大学 田代志門
2. ケア現場の芸術表現活動における「共犯性」とは何か ——ゴフマンの「スティグマ」の概念を手掛かりとして——	山形県立保健医療大学 山田カオル
3. オンラインを用いたピアサポート活動の非実体化 ——「つながる」ために「つながらない」という戦略——	東北大学 佐藤絵理
4. コロナ禍にみえる「住民運営の通いの場」の活動継続の困難性 ——岩手県盛岡市 X 地区における高齢者支援活動終了の分析より——	岩手保健医療大学 大井慈郎

F 部会 性・ジェンダー (東北文化学園大学 田中茜) 337 教室

1. The Relationship between Discrimination toward LGB in Japanese Corporation and their Willingness to continue Working	東北大学 趙業榕
2. 夫婦の社会的地位結合が夫婦関係満足度に与える影響 ——ジェンダー意識の視点から——	○ 東京大学 春怡荷 東京大学 三輪 哲
3. 現代の若者はなぜ VRChat の恋愛に魅かれるのか	東北学院大学 高橋佑基

学会総会 II 15:00-15:10 311 教室

閉会の辞 15:10- 311 教室